

# 相津地区の 景観まちづくり

※藍の縞模様は、伝統工芸品の「松阪木綿」柄です

令和5年度号  
No. 3

令和5年10月 発行  
松阪市建設部都市計画課



## 松阪市景観計画を進めています！

松阪市では美しく豊かな景観を、かけがえのない市民共通の資産として、誇りと愛着の持てる郷土づくりを実現するため、松阪市景観計画を進めています。

その中で、良好な景観の形成が特に必要な地区を重点地区に指定し、市民の皆様に「もっともっと松阪市の景観を好きになってほしい」との想いで、まちなみ保全に取り組んでいます。



令和5年4月に松阪市景観計画の改定が行われ、相津地区が重点地区（候補）に追加されました。

相津地区の山間集落の歴史的な建造物群は、地域を代表する景観になるため、この地区の特性や価値を知っていただけるよう、今後も啓発を進めていきます。

※重点地区（候補）に追加されたことによる、建築制限などはなく候補地区指定前と変わりはありません。

## 山村集落「相津地区」について

相津地区は、本市相津と大台町三瀬谷をつなぐ、相津峠の北側に位置し、相津川沿いの山間部に形成された山村集落です。

当地には黒を基調とした建造物で構成された大きな屋敷地や、わずかな平地を活かした農地、相津川の氾濫対策と想定される野面積みの外構などが見られ、山村集落における歴史的景観を特徴づけています。

現存している歴史的な建造物は、大切に維持管理されており、住民の地区への愛着が感じられます。



### 【相津峠】

松阪市から大台町に至る県道沿いはヤマザクラの名所であり、相津峠の上部にある「感謝の丘」からは、美しいヤマザクラや雄大な峰々を望むことができます。



## 市内では4地区が重点地区に指定されています！

松阪市では、市を代表する良好な景観特性を有し、特に景観保全に努めていく必要がある地区を『重点地区』として指定しています。

重点地区とは、住民、事業者、行政が一体となり、地区の美しい景観を守り、将来にひきついでいくため、市の景観計画に位置づけられた地区のことをいいます。現在、市内4箇所が重点地区に指定されており、地区特有の歴史的まちなみを保全するとともに地区間の交流活動や、住民によるまちなみの保全活動、行灯の点灯などまちなみの演出、地区の歴史や偉人の探求活動など様々な景観まちづくり活動が行われています。

### 【重点地区や重点地区（候補）の位置】



A 通り本町・魚町一丁目周辺地区



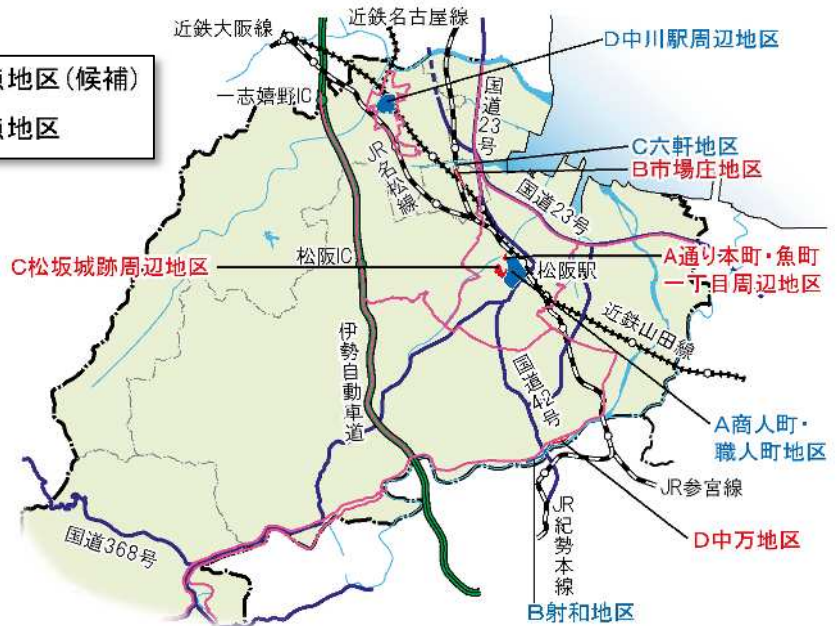
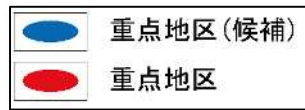
B 市場庄地区



C 松坂城跡周辺地区



D 中万庄地区



### 当地区以外の重点地区（候補）を紹介します！

#### G 波瀬地区

街道筋には、旧波瀬本陣や旧脇本陣の建物が残り、宿場町として栄えた往時を偲ぶ歴史的まちなみが今もみられます。



#### H 深野棚田地区

白猪山麓に位置し、深野だんだん田として、山の斜面に120段を数える芸術的な石積みみの棚田を見ることができます。



#### I 柳瀬新田 ・大溝新田地区

南勢地域最大の「深蒸し煎茶」の産地として、お茶を栽培する茶畑の文化的な景観が見られます。



#### J 大石町谷地区

山の斜面に芸術的な石積みみの棚田を見ることができます。先人の技術と後継者の努力によって脈々と引き継がれています。

